

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： Learning categories grounded in sensation without supervision

2. 個人研究者名

Cai MingBo (東京大学国際高等研究所 講師)

3. 事後評価結果

本研究者は、特に教師なしでの物体概念の獲得を目指し、感覚入力の予測誤差に基づいた単一の2D画像から物体中心の表現を抽出する新しいフレームワークを提案した。このフレームワークでは物体の位置とセグメンテーションを3D環境で予測し、その予測誤差に基づいて形状やテクスチャを持つ物体表現を潜在空間に自己組織化する。従来手法に比べ、色情報に依存せず、物体のセグメンテーションの特定性を向上させることを示した。本成果は、トップ会議で発表されている。

本フレームワークは、幼児の能動知覚に通じる発達モデルへの拡張の可能性を秘めている。今後、従来の画像処理の枠組みを大きく発展させる可能性があると期待される。